

CLUSTERPRO
MC ProcessSaver 2.9 for Windows
ユーザーズガイド(コマンド編)

© 2024(Apr) NEC Corporation

- はじめに
- コマンドリファレンス
- メッセージ一覧

改版履歴

版数	改版	内容
1.0	2015.03	新規作成
2.0	2016.03	MaxProcCount 機能に対応
3.0	2017.04	バージョンアップに伴い改版
4.0	2018.04	バージョンアップに伴い改版
5.0	2018.06	商標の記載の修正
6.0	2019.04	バージョンアップに伴い改版
7.0	2020.04	組み込み方式のストール監視機能に対応
8.0	2021.04	バージョンアップに伴い改版
9.0	2022.04	バージョンアップに伴い改版
10.0	2023.04	バージョンアップに伴い改版
11.0	2024.04	製品の 64bit 化に伴い、デフォルトインストールフォルダーを変更

はしがき

本書は、CLUSTERPRO MC ProcessSaver 2.9 for Windows(以後、ProcessSaver と記載します)のコマンドリファレンスについて説明します。

(1) 商標および著作権について

- ✓ その他記載の製品名および会社名は、すべて各社の商標または登録商標です。
- ✓ なお、本書では®、TM マークを明記しておりません。

目次

1.	はじめに	1
1.1.	用語の定義	1
1.2.	表記規則	2
1.3.	注意事項	2
2.	コマンドリファレンス	3
2.1.	Pcheck.exe	3
2.2.	Padmin.exe	4
2.3.	stallcaheck.exe	11
2.4.	statuscaheck.exe	11
2.5.	PSCollect.exe	12
3.	メッセージ一覧	13

1. はじめに

本書は、インストール後の設定全般を行うシステム管理者とその後の運用・保守を行うシステム管理者を対象読者とし、インストール後の設定から運用に関する操作手順を説明します。

1.1. 用語の定義

本書での用語について、下記のように定義します。

用語	説明
ProcessSaver コンソール	ProcessSaver の運用管理のための GUI(グラフィカルユーザーインターフェース)画面のことを、ProcessSaver コンソールと表記します。
HA ProcessSaver サービス	Windows システム上に登録する ProcessSaver のサービスのことを、HA ProcessSaver サービスと表記します。
Pfile	プロセス/サービスの監視定義情報を記述する設定ファイルのことを、Pfile と表記します。
Pcheck	Pfile で指定された定義情報に基づき、プロセス/サービスの消滅監視および再開を行うプロセスのことを、Pcheck と表記します。
Padmin	Pcheck の状態表示および操作を行うコマンドのことを、Padmin と表記します。
再起動スクリプト	監視対象プロセス/サービスの消滅を検知した場合に、監視対象プロセス/サービスを自動的に再起動するためのコマンド処理を記述したファイルのことを、再起動スクリプトと表記します。
RetryOverAction	監視対象プロセスの消滅を検知した際に再起動スクリプトにより、一定回数リトライしても再開できない場合、対象プロセスに対して実行されるさまざまな後処理のことを、RetryOverAction と表記します。
RetryCount	監視対象プロセス/サービスの消滅を検知し、再起動スクリプトを実行した回数のことを、RetryCount と表記します。
PcheckRunList	OS 起動時に自動的に監視を開始するための Pcheck の起動リストです。 監視を行う Pfile の一覧が記述されています。
インストールフォルダー	ProcessSaver をインストールしたフォルダーです。 本資料では、<C:\Program Files> にインストールしたことにします。

1.2. 表記規則

本書での表記規則について、下記のように定義します。

記号表記	使用方法	例
「」	参照するマニュアル名の前後 参照する章および章のタイトル 名の前後	「CLUSTERPRO MC ProcessSaver 2.9 for Windows イン ストールガイド」を参照してください。 「3.メッセージ一覧」を参照してください。
【】	ファイル名およびフォルダ名 の前後	【インストールフォルダー】¥HA¥ProcessSaver¥pfile¥【Pfile 名】

1.3. 注意事項

- (1) Pcheck.exe、Padmin.exe の実行には管理者権限が必要です。
管理者権限のあるユーザーで実行してください。

2. コマンドリファレンス

2.1. Pcheck.exe

指定された監視定義情報(Pfile)を使用し監視を行います。

Usage : Pcheck.exe -f PfileName [-w WaitTime(sec) | -W WaitTime(sec) | -p WaitTime(sec)] [-t] [-s]
: Pcheck.exe -h

-f PfileName	監視定義情報(Pfile)を絶対パスで指定します。 パスに空白が含まれる場合は、ファイル名を""で囲んでください。
-w WaitTime(sec)	指定された時間(WaitTime)、プロセス/サービスの起動が確認できるまで監視を待ち合わせます。(設定範囲:1~86400)
-W WaitTime(sec)	指定された時間(WaitTime)、プロセス/サービスの監視を待ち合わせます。 (設定範囲:1~86400)
-p WaitTime(sec)	指定された時間(WaitTime)、プロセス/サービスの監視を個々で待ち合わせます。(設定範囲:1~86400)
-t	トレースモードでの監視を行います。
-s	標準出力に障害通知を行います。
-h	Help を表示します。

- (1) 通常起動(ローカルユーザーにて起動)
Pcheck.exe -f PfileName
- (2) トレースモード起動
トレースモードでの運用を指定します。
Pcheck.exe -f PfileName -t
- (3) プロセス/サービスの起動が確認できるまで監視を待ち合わせ
Pcheck.exe -f PfileName -w <設定値(秒)>
- (4) プロセス/サービスの監視を待ち合わせ
Pcheck.exe -f PfileName -W <設定値(秒)>
- (5) プロセス/サービスの監視を個々で待ち合わせ
Pcheck.exe -f PfileName -p <設定値(秒)>
- (6) 標準出力モード起動
Pcheck.exe -f PfileName -s

2.2. Padmin.exe

指定された監視定義情報(Pfile)を使用して監視を行っている Pcheck の操作を行います。

Usage : Padmin.exe -f PfileName -c Option

: Padmin.exe -l

: Padmin.exe -h

Option : Start [PentId|GroupTag]

Stop [PentId|GroupTag]

Reload

Restart [PentId|GroupTag]

Shutdown

Change MsgCheckInterval|MonitorInterval ChangeValue

Show param|pent|group

Dump [DumpFileName]

AuthLicense

-f Pfilename	監視定義情報(Pfile)を絶対パスで指定します。 パスに空白が含まれる場合は、ファイル名を""で囲んでください。
-c Start	監視を再開します。対象の PentId もしくは GroupTag を指定することも可能です。
-c Stop	監視を一時停止します。対象の PentId もしくは GroupTag を指定することも可能です。
-c Reload	Pcheck を終了させずに Pfile の変更の反映や、リトライオーバー時のプロセス監視を再開できます。
-c Restart	監視内部情報をリセットし監視を継続します。対象の PentId もしくは GroupTag を指定することも可能です。
-c Shutdown	監視を終了します。
-c Change MsgCheckInterval ChangeValue	MsgCheckInterval の値を ChangeValue の値に変更します。
-c Change MonitorInterval ChangeValue	MonitorInterval の値を ChangeValue の値に変更します。
-c Show param	共通情報を表示します。
-c Show pent	個別情報を表示します。
-c Show group	グループ監視情報を表示します。
-c Dump [DumpFileName]	監視内部情報を DumpFileName で指定したファイルに出力します。 DumpFileName のパスに空白が含まれる場合は、 ファイル名を""で囲んでください。
-c AuthLicense	現在登録されているコードワードを確認してライセンスを反映します。
-l	起動している Pcheck の一覧を表示します。
-h	Help を表示します。

- (1) プロセス監視の一時停止
Padmin.exe -f Pfilename -c Stop
- (2) 停止中のプロセス監視の再開
Padmin.exe -f Pfilename -c Start

- (3) プロセス監視の終了
Padmin.exe -f Pfilename -c Shutdown
- (4) タイマー値の一時的な変更
監視タイマーの値を一時的に変更できます。
Padmin.exe -f Pfilename -c Change MsgCheckInterval ChangeValue
- (5) Pfile の再読み込み
Reload 機能を使うと、Pcheck を終了させずに変更した Pfile の設定情報を反映できます。
Padmin.exe -f Pfilename -c Reload
- (6) プロセス消滅時におけるプロセス監視の再開
リトライオーバーアクションに continue を指定した Pfile 環境で、対象プロセスの再起動に失敗すると当該プロセスを対象から外します。
プロセス復旧後に Reload 機能を使うと Pcheck を終了することなく監視の再開が可能です。
Padmin.exe -f Pfilename -c Reload
- (7) 監視一時停止時のプロセス再起動におけるプロセス監視の再開
監視一時停止中に、メンテナンスなどで監視対象プロセスの再起動を行った場合、Restart 機能を使うと Pcheck を終了することなく監視の再開が可能です。
Padmin.exe -f Pfilename -c Restart

※ プロセス監視中におけるメンテナンス作業手順
Pcheck を終了することなく監視対象プロセス/サービスに保守介入するには、Restart、Reload 機能が有効です。

- (8) Pcheck の状態確認
Padmin.exe -f Pfilename -c Show param

param を指定した場合、プロセス/サービス監視の Pfile 設定値を表示します。

Pfile	= C:\Program Files\HA\ProcessSaver\pfile\sample_pfile_calc
MessageBox	= Start
MsgCheckInterval	= 5
MonitorInterval	= 10
MonitorTryCount	= 2
DumpFileName	="C:\Program Files\HA\ProcessSaver\log\Restart_Sample.bat"
ExecutionUser	= Administrator
UpMessageReduceMode	= disable

(9) 監視対象プロセス/サービスの監視状態確認

Padmin.exe -f Pfilename -c Show pent

pent を指定した場合、監視対象プロセス/サービスの監視状況を表示します。

Pname = iexplore.exe
Pid/Status = -
RetryCountMax = 3
RetryCount = 0
RestartCount = 0
Grace = 86400
ProcStatus = Avail
StallCheckDefine = DefaultCheck
StallCheckStatus = Avail
RetryOverAction = Continue
RestartTime = -----
PentId = 1
MonitorStatus = ON
MinProcCount = 2
MaxProcCount = 3

ProcStatus および GroupStatus には、下記のプロセス/サービスの状態が表示されます。

Init : 初期状態
Restarted : プロセス/サービス再起動成功
Avail : プロセス/サービス正常動作
Down : プロセス/サービス消滅検知
RestartFail : プロセス/サービス再起動失敗
RetryOver : プロセス/サービスリトライオーバー
Restarting : プロセス/サービス再起動中

StallCheckDefine にはストール監視定義名が表示されます。

StallCheckStatus には、下記のストール監視の状態が表示されます。

Init : 初期状態
Avail : 正常
Suspect : ストール推定
Detect : ストール検出

StallCheckDefine および StallCheckStatus は pfile のオプション部にストール監視 (StallCheck) を指定している場合にのみ表示されます。

MonitorStatus には、下記の pent 単位の監視状態が表示されます。

ON 監視状態
OFF 監視停止状態

GroupTag /GroupStatus は、Group オプションを指定している場合にのみ表示されます。

MinProcCount、MaxProcCount は pfile のオプション部に指定している場合のみ表示されます。

(10) グループ監視の状態確認

```
Padmin.exe -f Pfilename -c Show group
```

group を指定した場合、監視対象プロセスの監視状況を表示します。

```
GroupTag      = group1  
GroupStatus   = Avail  
RestartTime   = 2007/03/19 15:30:07
```

(11) 監視内部情報のファイル出力

```
Padmin.exe -f Pfilename -c Dump [DumpFileName]
```

DumpFileName を省略した場合は、*Pfile* で設定しているファイルに情報を出力します。

(12) 起動中の Pcheck の一覧表示

Padmin.exe -l

Mypid = 2088
Myname = Pcheck.exe
Pfile = C:\Program Files\HA\ProcessSaver\pfile\pfile_sample1
Message = Start
ExecutionUser = SYSTEM

Mypid = 2188
Myname = Pcheck.exe
Pfile = C:\Program Files\HA\ProcessSaver\pfile\pfile_sample2
Message = Start
ExecutionUser = Administrator

(13) PentId または GroupTag 指定による Pfile の一部のプロセス監視の一時停止

Padmin.exe -f *Pfilename* -c Stop 1

Padmin.exe -f *Pfilename* -c Stop group1

(14) PentId または GroupTag 指定による停止中のプロセス監視の再開

Padmin.exe -f *Pfilename* -c Start 1

Padmin.exe -f *Pfilename* -c Start group1

(15) PentId または GroupTag 指定によるプロセス監視の再開

Padmin.exe -f *Pfilename* -c Restart 1

Padmin.exe -f *Pfilename* -c Restart group1

(16) 機能制限中の状態表示について

コードワードが未登録の状態では本製品をインストールした場合、インストールから 30 日を経過した後に ProcessSaver の機能が制限され、障害を検知しなくなります。

機能制限の詳細については、「CLUSTERPRO MC ProcessSaver 2.9 for Windows ユーザーズガイド(機能編)」の「5. 機能制限について」を参照してください。

① 起動中の Pcheck の一覧表示

Pcheck の一覧を表示した場合、機能制限中の Pcheck は最終行に機能制限中を示す「Restricted_mode = on」を表示します。

Restricted_mode は、機能制限中以外には表示されません。

```
Padmin.exe -l
```

```
Mypid           = 2088
Myname          = Pcheck.exe
Pfile           = C:\Program Files\HA\ProcessSaver\pfile\pfile_sample1
Message         = Start
ExecutionUser   = SYSTEM
Restricted_mode = on
```

```
Mypid           = 2188
Myname          = Pcheck.exe
Pfile           = C:\Program Files\HA\ProcessSaver\pfile\pfile_sample2
Message         = Start
ExecutionUser   = Administrator
Restricted_mode = on
```

Restricted_mode には、以下のように Pcheck 単位の機能制限の状態が表示されます。

機能制限の状態	説明
on	機能制限中

② Pcheck の状態確認

機能制限中に Pcheck の状態を表示した場合、最終行に機能制限中を示すメッセージ「Monitoring stop until activation succeeded.」を表示します。

各値は機能制限中のため、実際の状態と異なる場合があります。

```
Padmin.exe -f Pfilename -c Show param
```

```
Pfile           = C:\Program Files\HA\ProcessSaver\pfile\sample_pfile_calc
MessageBox      = Start
MsgCheckInterval = 5
MonitorInterval = 10
MonitorTryCount = 2
DumpFileName    = "C:\Program Files\HA\ProcessSaver\log\Restart_Sample.bat"
ExecutionUser   = Administrator
UpMessageReduceMode = disable
```

Monitoring stop until activation succeeded.

③ 監視対象プロセス/サービスの監視状態確認

機能制限中に監視対象プロセス/サービスの監視状態を表示した場合、最終行に機能制限中を示すメッセージ「Monitoring stop until activation succeeded.」を表示します。
各値は機能制限中のため、実際の状態と異なる場合があります。

```
Padmin.exe -f Pfilename -c Show pent
```

```
Pname           = iexplore.exe
Pid/Status      = -
RetryCountMax   = 3
RetryCount      = 0
RestartCount    = 0
Grace           = 86400
ProcStatus      = Avail
RetryOverAction = Continue
RestartTime     = -----
PentId          = 1
MonitorStatus   = ON
MinProcCount    = 2
MaxProcCount    = 3
```

Monitoring stop until activation succeeded.

④ グループ監視の状態確認

機能制限中にグループ監視の状態を表示した場合、最終行に機能制限中を示すメッセージ「Monitoring stop until activation succeeded.」を表示します。
各値は機能制限中のため、実際の状態と異なる場合があります。

```
Padmin.exe -f Pfilename -c Show group
```

```
GroupTag        = group1
GroupStatus     = Avail
RestartTime     = 2007/03/19 15:30:07
```

Monitoring stop until activation succeeded.

2.3. stallcaheck.exe

ストールチェック対象のプロセス/サービスのストール状態のチェックを行います。

Usage : stallcaheck.exe [-f FileName]

-f FileName 使用するストール監視機能設定ファイルを指定します。
パスに空白が含まれる場合は、ファイル名を""で囲んでください。

- (1) ストール監視機能設定ファイルを指定しない場合

stallcaheck.exe

- (2) ストール監視機能設定ファイルを指定する場合

stallcaheck.exe -f FileName

2.4. statusaheck.exe

ストールチェック対象のプロセス/サービスの稼働状態のチェックを行います。

Usage : statusaheck.exe [-f FileName]

-f FileName 使用するストール監視機能設定ファイルを指定します。
パスに空白が含まれる場合は、ファイル名を""で囲んでください。

- (1) ストール監視機能設定ファイルを指定しない場合

statusaheck.exe

- (2) ストール監視機能設定ファイルを指定する場合

statusaheck.exe -f FileName

2.5. PSCollect.exe

障害解析に必要な情報の取得を開始します。

Usage : PSCollect.exe [-o FileName]

: PSCollect.exe -u

: PSCollect.exe -h

-o FileName 情報を FileName で指定したファイルに圧縮します。
パスに空白が含まれる場合は、ファイル名を""で囲んでください。

-u 取得したファイルを圧縮しません。

-h Help を表示します。

(1) 通常起動(圧縮ファイル名を指定しない)

PSCollect.exe

デフォルトの圧縮ファイル名は次のとおりです。

【インストールフォルダー】¥HA¥ProcessSaver¥PS-【サーバー名】yyyymmdd.cab

(2) 圧縮ファイル名を指定して起動

PSCollect.exe -o *圧縮ファイル名*

ファイル名は絶対パスで指定してください。

ただし、ファイルの拡張子は不要です。実行時に拡張子 cab を付加します。

(3) 非圧縮で起動

PSCollect.exe -u

圧縮しない場合は、情報取得作業用フォルダーを削除しません。

3. メッセージ一覧

※ メッセージ一覧 [説明(対処)] の()内については、お客様ご自身にて対応していただく内容を記述しております。

メッセージ ID	種類	メッセージ	説明(対処)
PS02E002	Error	引数不正です。	コマンドの引数指定が違います。 (引数を正しく指定してください。)
PS02E021	Error	引数で指定された Pfile は存在しません。	指定した Pfile が存在しません。 (存在する Pfile を指定してください。)
PS02E035	Error	Pfile は絶対パスで指定してください。	Pfile に指定したファイル名が絶対パスで指定されていません。 (絶対パスにてファイル名を指定してください。)
PS03E001	Error	引数不正です。	コマンドの引数指定が違います。 (引数を正しく指定してください。)
PS03E002	Error	コマンド受付状態です。 (Pfile:{xxx})	すでにステータスの変更予約が行われています。 (ステータスの変更が行われてから再実行してください。)
PS03E004	Error	引数で指定された Pfile は存在しません。	指定した Pfile が存在しません。 (存在する Pfile を指定してください。)
PS03E005	Error	Pcheck は実行されていません。 (Pfile:{xxx})	指定された Pfile を使用している Pcheck が起動していない状態で管理コマンドが発行されました。 (起動している Pcheck にて使用している Pfile を指定してください。)
PS03E006	Error	Pfile にエラーがあります。({xxx})	指定した Pfile に問題があります。 (Pfile を確認してください。)
PS03E007	Error	Pfile は絶対パスで指定してください。	Pfile に指定したファイル名が絶対パスで指定されていません。 (絶対パスにてファイル名を指定してください。)
PS03E023	Error	指定された PentID もしくは GroupTag が存在しません。(指定値:{xxx})	存在しない PentID もしくは GroupTag が指定されています。 (PentID もしくは GroupTag を確認してください。)
PS04E001	Error	{xxx}にファイル名として使用できない文字が指定されています。	設定しているファイル名に禁則文字が含まれています。 (禁則文字を削除してファイル名を設定してください。)

CLUSTERPRO
MC ProcessSaver 2.9 for Windows
ユーザーズガイド(コマンド編)

2024 年 4 月 第 11 版
日本電気株式会社
東京都港区芝五丁目 7 番 1 号
TEL (03) 3454-1111(代表)

© NEC Corporation 2024

日本電気株式会社の許可なく複製、改変などを行うことはできません。
本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。

保護用紙